# ウイッグ贈呈式を行いました！

6月16日に9名の女性たちに看護学生の髪の寄付を使って製作したウイッグをお渡しするセレモニーを、リボンズハウス本部（新百合ヶ丘）にて行いました。その様子をお伝えします。

2008年10月に発足してから、5か月に渡って看護学生がパンテーンでヘアケアしてきた髪の毛で、9つのウイッグ（制作協力スヴェンソン）ができました。贈呈式の挨拶にウイッグプロジェクトメンバーが駆け付けました。

NPO法人ｷｬﾝｻｰﾘﾎﾞﾝｽﾞ副理事長　岡山慶子さん
ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ委員長　佐藤禮子さん（兵庫医療大学副学長）
NPO法人ｷｬﾝｻｰﾘﾎﾞﾝｽﾞ理事　山崎多賀子さん（美容ｼﾞｬｰﾅﾘｽﾄ）

P&Gパンテーン広報で当プロジェクトのメンバーでもある下村祐貴子さんより、これからも「キレイの力」を感じて頂くために手鏡のプレゼントがありました。さらに、お一人お一人にあったメイクアップもP&Gマックスファクターの美容部員さんよりプレゼントされました。

皆さんステキな笑顔です。

ウイッグ・サポーターの看護学生さんとついに対面です。ウイッグを贈られた患者さんよりお礼のコメントをいただきました。最初、学生さんは緊張な面持ちでしたが、ウイッグをつけた患者さんの笑顔に、だんだん和やかな雰囲気になってきました。

最後は、このウイッグ・プロジェクトをまとめたドキュメンタリーをみんなで鑑賞しました。

☆サポーターのみなさん、長い間ご協力ありがとうございました。この経験を今後役に立てて頂ければ幸いです。
☆ウイッグを使って下さるみなさま、また皆さまの笑顔にお会いできて嬉しかったです。

～患者さんからのお手紙から～

（一部省略しています）

「想いのつまったウイッグを頂けることになって、本当に感謝しています。同じような境遇にいる患者さんたちとも交流が持てるということも嬉しいことであります。日々ウイッグを使うことも、今の治療生活の励みの一つになっています」

「がんという病気になったことは悲しいことですが、このプロジェクトで人の温かい心に触れることができたのは、とても意味のあることだと思います」

「脱毛がいやでいやで治療を拒んでいましたが、看護学生さんからの髪の寄付によるウイッグという最高の贈り物を頂いたことにより、力強く生きていこうと思えるようになりました」

「彩りをありがとう　病を得て入り得た友人達が　私の乳がんライフを明るく楽しいものに　引き上げてくれました。今回、看護学生さんの優しい支援が人生に新たな彩りを添えてくれました」